

米国 寒波による押し上げに加えハイテク・自動車が増大(2007年2月鉱工業生産)

発表日：2007年3月16日（金）

～モメンタム再加速～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

鉱工業生産 (Industrial Production and Capacity Utilization)

	鉱工業生産			製造業 (NAICS)						設備稼働率		生産能力
	前月比	前年同月比	3ヶ月移動平均	製造業 (NAICS)	鉱業	公益	ハイテク 関連	除ハイテク 関連	自動車関連	稼働率	稼働率	
06/02	+0.3	(+3.0)	▲0.2	▲0.2	▲0.1	+5.1	+0.8	▲0.3	▲1.3	+81.1	+79.7	+0.2
06/03	+0.5	(+3.6)	+0.5	+0.5	+0.1	+1.7	+2.7	+0.4	+1.4	+81.4	+79.8	+0.2
06/04	+0.9	(+4.5)	+1.0	+1.0	+1.2	▲0.1	+3.6	+1.0	▲0.0	+81.9	+80.4	+0.2
06/05	▲0.1	(+4.0)	▲0.2	▲0.2	+0.9	+0.3	+1.8	▲0.5	▲1.7	+81.7	+80.1	+0.2
06/06	+0.9	(+4.3)	+0.9	+0.9	+0.4	+1.6	+1.6	+0.6	+2.1	+82.3	+80.6	+0.2
06/07	+0.4	(+4.7)	+0.4	▲0.1	▲0.1	+1.2	+1.7	+0.3	▲4.1	+82.4	+80.8	+0.2
06/08	+0.2	(+4.6)	+0.4	▲1.1	+0.0	+2.5	+0.1	+1.9	+82.4	+80.9	+0.2	
06/09	▲0.3	(+6.0)	▲0.0	+1.1	▲3.9	+3.1	▲0.4	▲1.3	+82.0	+80.7	+0.2	
06/10	▲0.2	(+4.6)	▲0.9	▲0.1	+5.0	+1.7	▲0.7	▲3.6	+81.7	+79.8	+0.2	
06/11	▲0.4	(+3.0)	▲0.2	▲0.2	▲2.7	+0.8	▲0.2	+3.5	+81.3	+79.5	+0.2	
06/12	+0.8	(+3.0)	+1.1	+2.1	▲2.5	+1.2	+1.2	+1.7	+81.7	+80.3	+0.2	
07/01	▲0.3	(+2.7)	▲0.5	▲1.3	+2.2	+2.1	▲0.9	▲5.8	+81.4	+79.7	+0.2	
07/02	+1.0	(+3.4)	+0.3	+0.1	+6.7	+3.2	+0.3	+3.1	+82.0	+79.8	+0.2	

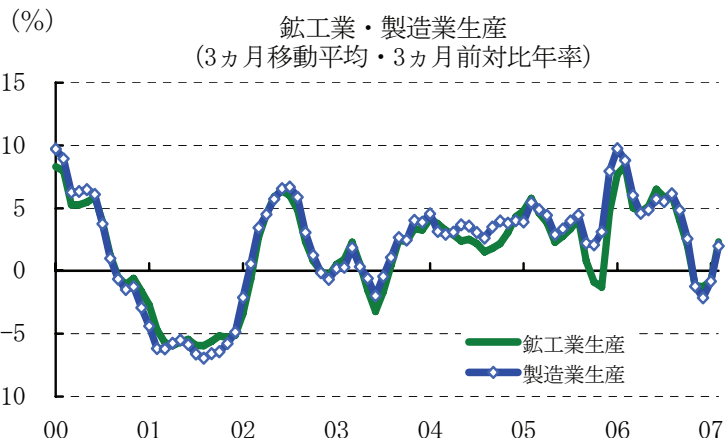
(出所) F R B

(注) 数字は前月比、但しカッコ内は前年同月比。

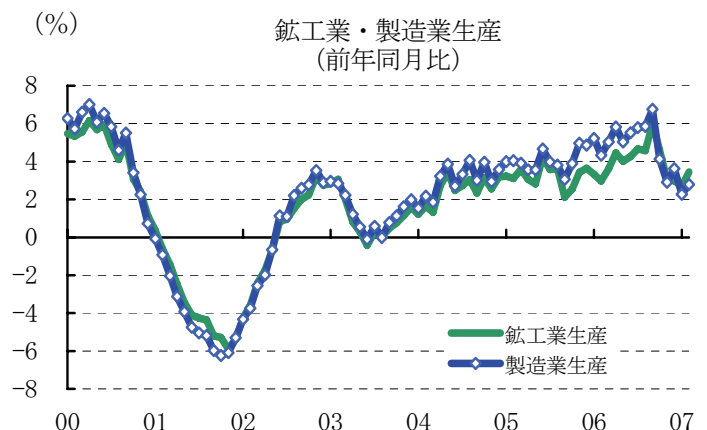
鉱工業生産は前月比 +1.0%と市場予想 を上回りモメンタム 加速

2007年2月の鉱工業生産は前月比+1.0%とプラスに転じ市場予想の同+0.3%を上回った(11、12、1月合計で同0.2%上方改定)。気温の低下によって公益が加速し、ハイテク、自動車主導で製造業、鉱業が増加に転じた。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+2.3%(前月▲0.8%)とプラスに転じておりモメンタムが加速した。

製造業はハイテクが好調を維持する中、自動車生産が前月比+3.1%上昇したことで同+0.3%とプラスとなった(11、12、1月合計で同0.3%上方改定)。自動車以外でも、紙、コンピューター、一次金属等の生産が増大した。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+2.0%(前月▲0.8%)とプラスに転じており、製造業生産のモメンタムが加速している。



(出所) F R B



(出所) F R B

生産の拡大により稼働率はさらに上昇

稼働率は生産能力が前月比+0.2%と拡大したものの、生産が同+1.0%となったため82.0%（1月分は速報の81.2%から81.4%に上方改定）に上昇した。製造業の稼働率も80.1%（1月分は速報の79.4%から79.9%に上方改定）と80%台を回復した。

拡大した製造業生産は19業種中11業種に増加

業種別にみると、鉱業は前月の反動等によって前月比+0.1%と増加に転じた。公益は、2月としては94年以来の寒波によって天然ガスが同+11.1%と2ヵ月連続で11%台の伸びとなったうえ、電力が同+5.9%と速まったため、全体でも同+6.7%と加速した。

製造業は、前月比+0.3%とプラスとなり、拡大した業種数も19業種中11業種（前月7業種）に増加した。セクター別にみると、自動車関連の生産は自動車部品が前月比+1.6%、完成車が同+5.8%と増加したため、同+3.1%と拡大に転じた。ハイテク関連ではコンピューターが同+5.1%、半導体が同+2.7%、通信機器が同+2.4%と加速したことにより、全体でも同+3.2%（前月同+2.1%）と拡大ペースが速まった。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+21.1%（前月+19.7%）とモメンタムが加速している。さらに、航空機部門の生産は前月比+0.1%、前年同月比+11.3%と好調に推移している。受注残の大きさから当面この部門の生産は好調を維持するとみられ生産全体を下支えしよう。

生産は2007年前半調整が続く公算

今後に関しては、2007年前半に在庫投資の抑制、住宅投資の減少によって景気は緩やかなペースでの拡大が予想される。自動車はビッグ3の販売不振によって生産調整が行われているが、ゼロ金利ローン対象車種を拡大するなど販促を強化しており2007年前半には在庫調整が終了すると見込まれる。また、住宅関連では在庫水準の高さから住宅投資の減少が2007年前半続くとみられ、関連の生産も年前半調整が続くと予想される。このため、製造業生産は2007年前半緩やかなペースでの拡大にとどまると見込まれるが、年後半には在庫調整の終了に伴い拡大ペースが加速しよう。

